

# あいちモビリティイノベーションプロジェクト 「空と道がつながる愛知モデル2030」

スタートアップと愛知県が連携で取り組む官民連携プロジェクト  
ドローン・空飛ぶクルマの需要創出や産業創出・基幹産業化に向けた取組を推進中！

プロジェクトメンバー： (株)プロドローン、(株)ジェイテクト、名古屋鉄道(株)、(株)SkyDrive、(株)テラ・ラボ、VFR(株)

## 柱1 (需要の創出)

「空と道がつながる」新しいモビリティ社会「愛知モデル」の実現  
(愛知県全域を次世代モビリティのショーケース化)

革新的ビジネスモデルの国内外への  
横展開による需要の拡大

## 好循環を創出

## 柱2 (供給力の強化)

次世代モビリティ産業の基幹産業化  
(「令和の殖産興業」)

国内外の需要を愛知県内に取り込み、  
産業拠点としての機能を強化

### インフラ輸出



### 社会課題の解決

#### 物流クライシスの解決

【写真提供】株式会社プロドローン

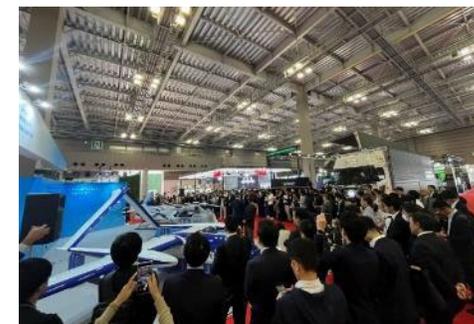
#### 人の移動手段の 多様化と最適化

【写真提供】株式会社SkyDrive

#### 災害時にドローンが人々 を助ける仕組みの構築

【写真提供】株式会社テララボ

## 2023年の取組紹介



2023年10～11月 ジャパンモビリティショーに出展

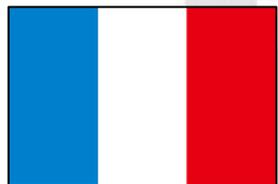


2023年11月 ドローンの実証実験を実施  
(医療コンテナへの医療物資の輸送)

### ③グローバル化

#### 海外ネットワークの拡大・深化と求心力の強化

- 海外の機関と連携したスタートアップ支援
- 世界に向けたブランド発信



#### フランス

STATION F  
INSEAD  
パリ市  
Paris & Co  
IMT Atlantique  
Bpifrance  
オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ地域圏



#### ドイツ

NRW州  
(ノルトライン＝ヴェストファーレン州)



#### イスラエル

イスラエルイノベーション庁  
Start-Up Nation Central



#### 韓国

慶尚南道



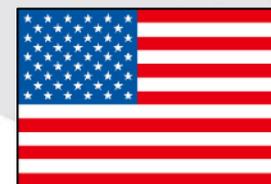
#### 中国

清華大学  
(TUSホールディングス)  
上海交通大学  
浙江大学



#### シンガポール

シンガポール国立大学



#### アメリカ

テキサス大学オースティン校

令和5年度

海外スタートアップ企業と当地域  
企業とのビジネスマッチング件数

227件

# スタートアップ・エコシステム拠点強化支援プログラム (国、JETRO及び他の構成員と連携)

<事業内容は令和5年度実績>

## グローバル起業家支援プログラム

起業家及び起業を目指す学生を海外に派遣し、海外のイノベーションの実情を体感させ、ボーングローバルマインドを醸成

参加者: 5名 (高校生含む)

日時: 令和6年 3月3日~11日

渡航先: 米国

ノースカロライナ NC州立大学、NU Tech  
シリコンバレー 米国有力アクセラレーター  
(Berkeley SkyDeck、US MAC)  
Google、Apple、Stanford大学等



## 海外拠点都市連携事業

オランダ×Central Japan農業イノベーションプロジェクト

①オンラインセミナー: 72名参加

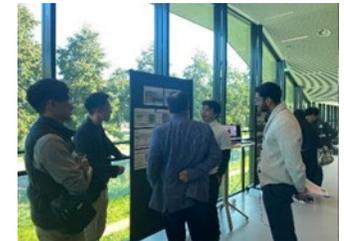
②現地渡航:

参加者: 3社5名

日時: 令和5年10月15日~18日

渡航先: オランダ (ワーヘニンゲンおよびロッテルダム)

6つの拠点訪問及び10社のオランダ企業とマッチング



## 海外メディアとの交流会



Central Japan ブランドを世界に発信

実施回数: 2回

記事化実績:

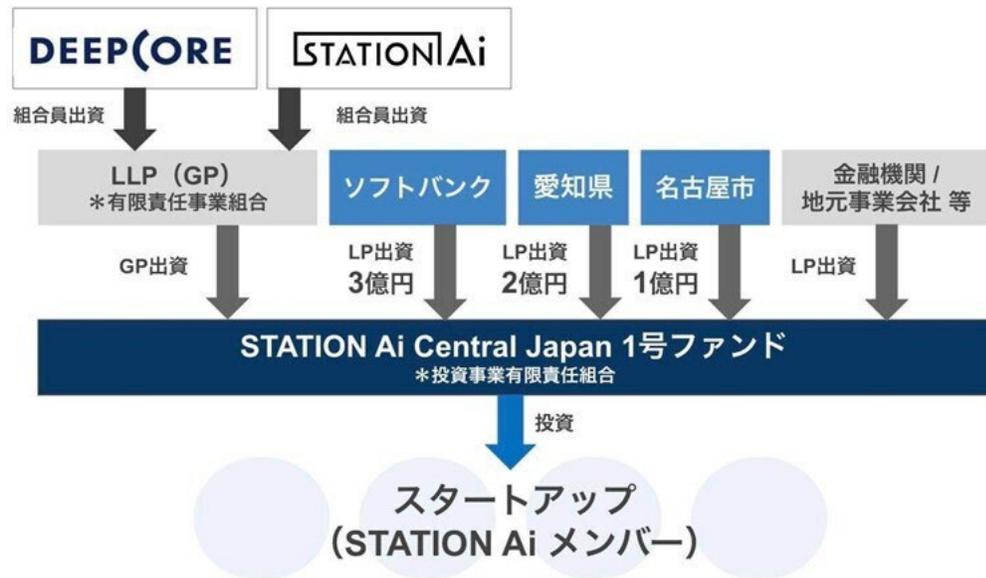
ロイター(日英)/転載41件、KrAsia(2件:日英中)、Forbes(英)、Nikkei Asia(英)、Automotive News(英)

## ④ファイナンス

資金面からスタートアップの成長を後押し

令和5年 資金調達額(愛知県)  
140億円

### STATION Ai Central Japan 1号ファンド



総額約15億円

### Central Japan Seedファンド



総額約15億円

# 民間組織の取り組み

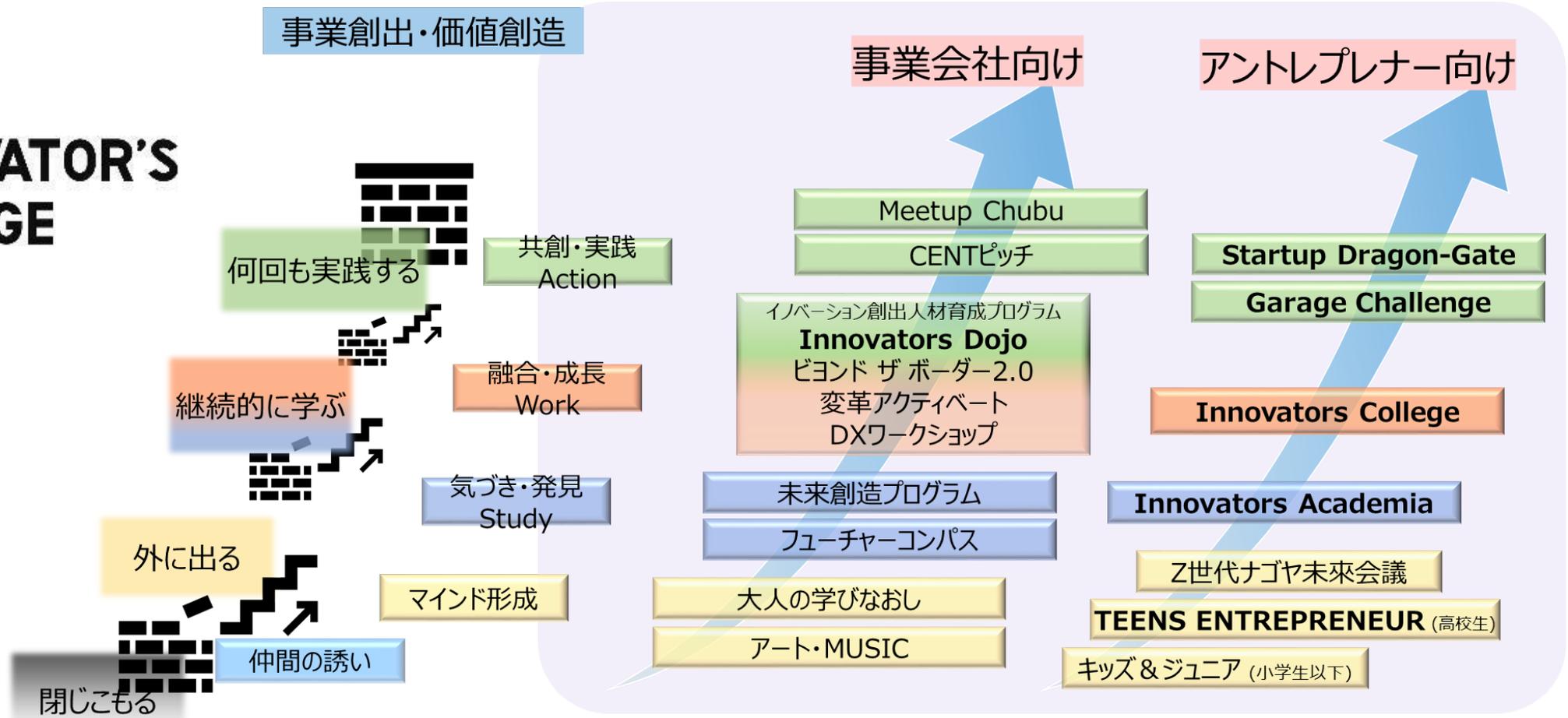
## 中部経済連合会 (ナゴヤイノバーターズガレッジ)

イノベーション創出エコシステム構築とそれを支える幅広いプログラムを提供

事業会社・アントレプレナー向けの2軸で事業創出・価値創造



### INNOVATOR'S GARAGE



# 民間組織の取り組み

## 中部ニュービジネス協議会 (名古屋商工会議所)

中部ニュービジネス協議会 (CNB)は、ニュービジネスの育成と振興を目指すとともに、地域経済・社会の発展に先進的な役割を果たすことを目的として、中部地区の中小から大手までの幅広い企業が結集し1989年に誕生した協議会です。以来経済産業省や関係自治体・諸団体と連携をとりつつ、ニュービジネスに関する様々なテーマを掲げ、CNBベンチャー大賞、ニュービジネスフェア、講演会、会員交流会、スタートアップピッチなどを実施する一方、新しいビジネスチャンス作りやベンチャー・スタートアップ支援を行う等、幅広い活動を積極的に展開しています。

### Advanced CNB

2024年 CNBは  
さらなる先進性を求めて挑戦し続けます

#### 名称

中部ニュービジネス協議会 (略称:CNB)

#### 設立

1989年6月6日

#### 代表者

会長 永井 淳  
(新東工業株式会社 代表取締役 社長執行役員)



#### 会員数

169社 (2024年5月現在)

#### 事務局

名古屋商工会議所

## CNBベンチャー大賞2023



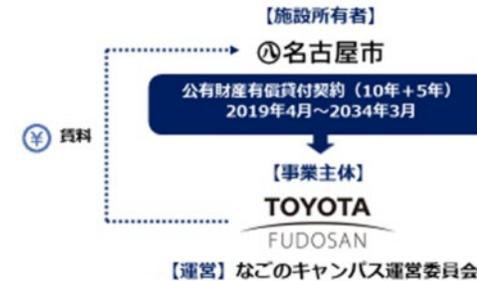
## なごのキャンパス

# OPEN MIX BORN

ひらく、まぜる、うまれる  
次の100年を育てる学校

Open,mix,born.  
We nurture the next generation.

2019.10 OPEN



<b>TOYOTA FUDOSAN</b> トヨタ不動産株 ・事業主体 ・施設全体マネジメント	<b>LEO</b> 株式会社LEO ・コワーキング運営 ・コミュニティ形成 ・イベント企画	<b>R-pro</b> 株式会社R-pro ・施設ブランディング ・クラウドファンディングを 活用した地域連携	<b>Tongali</b> Tongaliプロジェクト ・学生起業家育成 ・産学連携	<b>名古屋商工会議所</b> 名古屋商工会議所 ・起業 ・各種補助金申請 ・労務 ・知財 ・税務 等
--	--	--	--	--

# 大学でのアントレプレナーシップ教育

## STEP 06 仮説検証

LLP & 海外研修 ⇒ DemoDay



## STEP 04 アイデア実証

スクール & 海外研修



## STEP 02 深堀り

Tongali スクール



学生はだれでも参加が可能。R5年度は、  
講義 + 共通プログラムに**8,000人以上**が参加している。

## STEP 05 実践準備

ビジネスプランコンテスト



## STEP 03 アイデア創出

アイデアピッチコンテスト



## STEP 01 気づき

Tongali シンポジウム



# 大学での企業支援プログラム

## 大学の研究成果を事業に展開

GAPファンドやインキュベーションプログラムによって、研究成果の事業化展開を加速させている。

### 01 スタートアップ準備資金

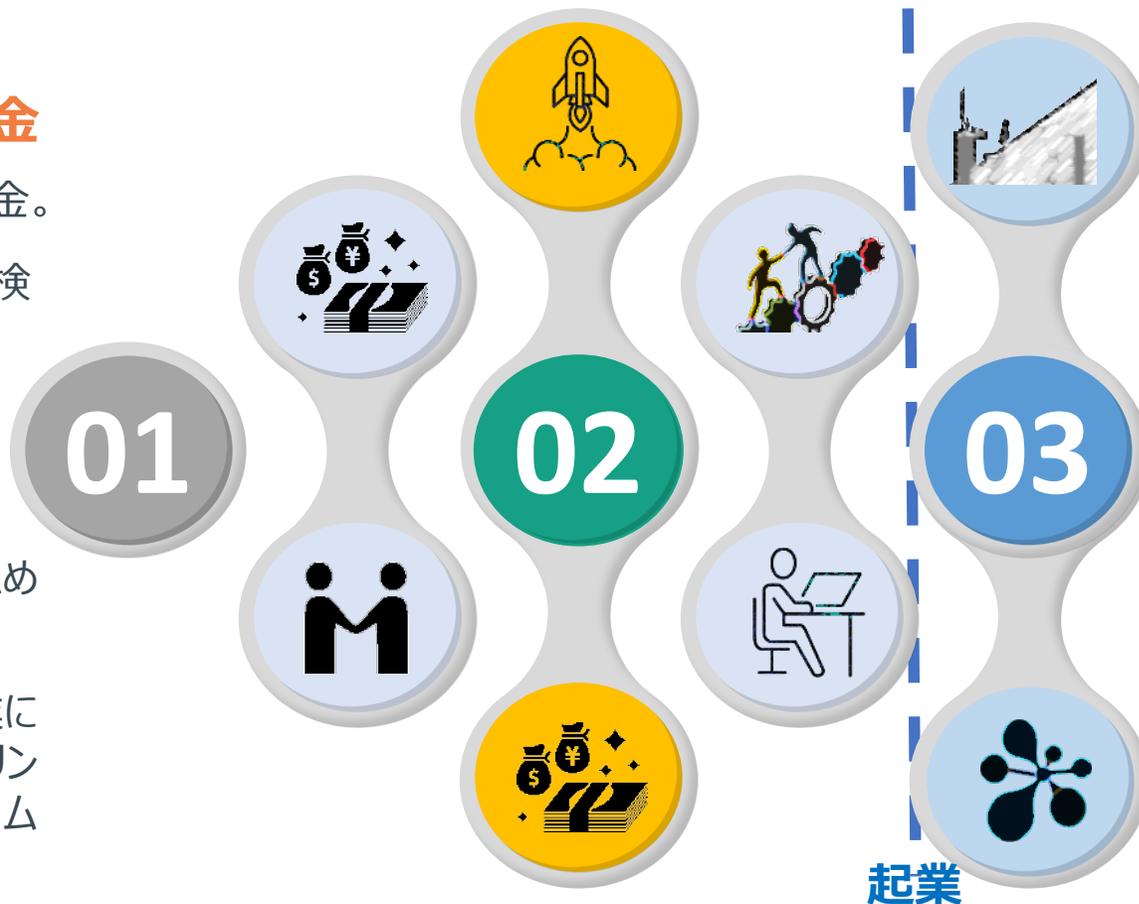
5大学を対象としたシーズ育成金。

研究成果の事業化の可能性を検討するための補助金。

### 02 GAP ファンド

Tongaliで実施する事業化のための開発資金。

ビジネスプランの仮説検証、起業に必要な知識獲得と、個別メンタリング等のインキュベーションプログラムも同時に実施する。



### 03 名古屋大学・ 東海地区広域大学VF

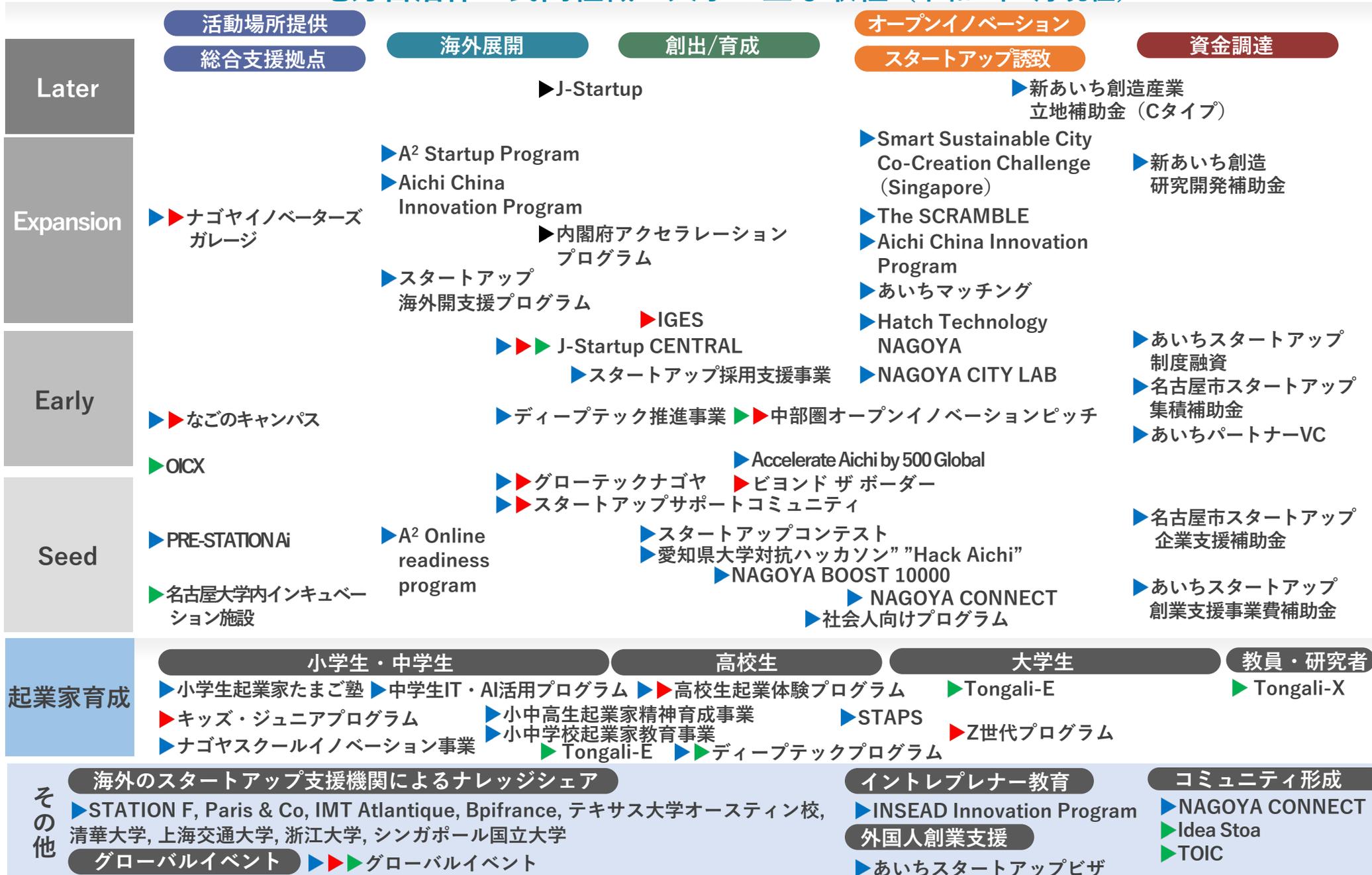
起業した大学発ベンチャーを対象としたベンチャーファンド。

起業したベンチャーには、“**名古屋大学発ベンチャー**”の称号授与のほか、学内インキュベーション施設のオフィス支援、様々なネットワークを駆使した顧客やVCの紹介なども実施している。



# Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium

## 地方自治体・民間組織・大学の主な取組（令和6年4月現在）



産学官が連携し、スタートアップの成長段階に応じて支援

全60事業  
161億円

▶ 地方自治体の取組  
▶ 民間組織の取組  
▶ 大学の取組

# Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium

—地方自治体の取組—

名古屋市



# 名古屋市のスタートアップ支援施策

人材育成から資金調達まで、スタートアップの成長段階に応じた支援を実施



## スタートアップ・イノベーション拠点

NAGOYA INNOVATOR'S GARAGE  
NAGONO CAMPUS  
名古屋医工連携インキュベータ(NALIC)  
名古屋ビジネスインキュベーター

## ② 共創・オープンイノベーション

NAGOYA Movement  
Nagoya Innovation Gateway  
INNOVATOR'S GARAGE  
HATCH TECHNOLOGY NAGOYA  
まちなか実証 NAGOYA CITY LAB

## ① 人材育成のサポート

小中学生起業家育成事業  
高校生スタートアップ創出促進事業  
NAGOYA BOOST 10000  
GLOW TECH NAGOYA  
NAGOYA CONNÉCT  
Startup Support Community

## ③ グローバル化

GLOW TECH NAGOYA  
NAGOYA CONNÉCT

## ④ ベンチャーファイナンス

STATION Ai Central Japan 1号ファンド  
スタートアップ企業支援補助金  
スタートアップ等販路開拓支援事業  
スタートアップ集積促進補助金

# ① 人材育成（起業家教育）

## 小中高生を対象とした起業家育成事業

- 産学官の連携により小学生から大学生までの切れ目のない教育を実施
- 成長段階に応じた段階的プログラムと次のアクションに向けたアフターフォロー
- 起業家のすそ野を広げる日本最大規模の取り組み



### 小学生

- ・起業家たまご塾 ひよこコース(上級)
- ・起業家たまご塾 たまごコース(初級)

・トワイライトスクールモデル事業(小学校で実施)



### 中学生

- ・スタートアップ2DAYS(上級)
- ・スタートアップ1DAY(初級)



### 高校生

- ・ティーンズ・ミートアップ(講演会)
- ・スタートアップユースキャンプ
- ・終了後のフォロー、コミュニティ(中部経済連合会と連携)



### 大学生

- ・Tongali プログラム(東海地区全域の大学生)

<令和5年度実績(参加者数)>

・小中高生(名古屋市事業)は**1,796人**

## ① 人材育成（起業家教育）



# NAGOYA BOOST 10000

起業を志す人や企業の新規事業担当者を対象としたビジネス創出プログラム。ビジネス創出のためのナレッジやスキルの獲得だけでなく、アウトプットにこだわったプログラム。

実績(2017-2023)  
Participants



223  
people



343  
people



961  
people

## ① 人材育成（起業家支援）

東海のスタートアップを強力にサポートするコミュニティ

# STASUPPO

スタサポ Startup Support Community

## STASUPPO -スタサポ とは

STASUPPOは、東海地域のスタートアップ起業家のための、事業プランの相談や事業拡大に向けた人脈づくりを支援するコミュニティです。

### ①メンターとのマッチング

スタートアップが日々直面する課題に対して、相談が可能なメンターをマッチング。資金調達や人材獲得の悩み、海外展開に必要な考え方、ビジネスモデルを検討するための気軽な壁打ちなど、ニーズに合ったメンターを紹介。

### ②起業家仲間との交流

スタートアップ同士が参加する交流会イベントを実施。お互いの得意分野や技術分野で補完関係を築いたり、課題感や過去に取り組んだ経験などを共有。

### ③スタートアップ支援情報の発信

募集締切が近いビジコン・ピッチ情報、アクセラレーションプログラム、補助金、インキュベーション施設などの役立つ情報を、毎月まとめて発信。



# NAGOYA Movement

スタートアップ企業と事業会社との確度を高めたマッチングとその後の事業創出を伴走型によりサポートするプログラム

### STEP 1

事業会社向け

事業会社



スタートアップ共創  
ノウハウ習得プログラム

### STEP 2

事業会社 x スタートアップ

事業会社

スタートアップ



マッチングプログラム

### STEP 3

事業創出

事業会社

スタートアップ



伴走型支援プログラム

令和4年度

令和5年度

<令和4~5年度 実績>

〇参加事業会社 6社

中部電力株式会社



中部電力

矢崎エナジーシステム株式会社



株式会社バローホールディングス



株式会社フジミインコーポレーテッド



FUJIMI INCORPORATED

株式会社中日新聞社



中日新聞社

日本ガイシ株式会社



日本ガイシ

〇支援したプロジェクト件数

33プロジェクト

## 先進技術社会実証支援事業

# HATCH TECHNOLOGY NAGOYA

「Hatch」とは「かえす、孵化する」を意味します。

この名古屋から、先進技術という「卵」を、社会実装というかたちでどんどん「孵化」させていくことを目指します。



### 課題提示型

庁内から集めた課題の解決を図る社会実証を実施  
(経費支援あり)

(令和5年度)

行政課題	4件	700千円/件
社会課題	4件	4,000千円/件



令和5年度 実証 **8**件  
これまでの累計 **34**件

### フィールド活用型

ネットワークコミュニティ「Hatch Meets」において施設等のフィールドと実証ニーズをマッチング



令和5年度 実証 **6**件  
これまでの累計 **24**件

## 01 エスカレーターで歩く人をAIが検知!? “あたりまえ”からの脱却

実証事業者:有限会社来栖川電算  
市担当部署:スポーツ市民局 消費生活課

高精度のLiDARセンサーとAI技術を用いて、エスカレーターの利用状況をリアルタイムでモニタリングし、不適切な利用行動を検出・注意喚起。  
地下鉄伏見駅に設置し、エスカレーターの安全利用を推進できるかを検証した。

センサー設置位置



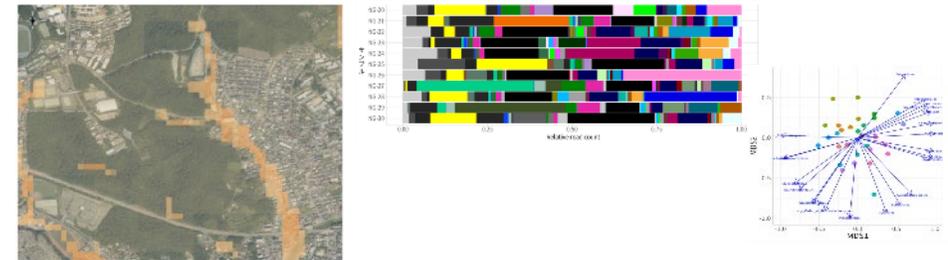
地下鉄エスカレーターに設置したシステム

高精度のLiDARセンサーで捉えた映像

## 02 ビオトープはどうつくる? テクノロジーでビオトープの豊かさと 形成プロセスを可視化

実証事業者:サンリット・シードリングス株式会社  
市担当部署:環境局 環境企画課、  
なごや生物多様性センター

オープンデータと土壌の微生物のDNAを分析し、「生物多様性ポテンシャルマップ」を作成。  
生物の生息適地の予想に基づき、簡易的なビオトープ整備を行い、作成したマップの有効性を検証した。



生物多様性ポテンシャルマップ  
(オレンジ色のエリアが生息適地)

微生物の出現頻度と  
サンプル間の微生物の違い

## ② 共創・オープンイノベーション

スタートアップと創る未来のまち (R5新規)

なごやまちなか実証

# NAGOYA CITY LAB

民間フィールドの社会課題解決を通じて、スタートアップ等が社会実証を推進できる環境を構築し、まちなかで社会実証が活発に行われる「世界の実証実験都市なごや」を目指す。



< 実証経費の支援 >

区分	支援の上限額
民間フィールド	最大100万円 / フィールド
実証を行うスタートアップ企業等 <sup>(※)</sup>	最大500万円 / フィールド

※最低2件/フィールド以上実施

